

2022. 4. 30

## 落合農園の紹介

農地の上にソーラーパネルを設置し、発電と営農を分かち合う（シェアする）厚木初のソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）の農園です。農薬、化学肥料を使わない安心・安全な作物を栽培。ぜひお買い求めください。農園の見学も大歓迎！**定例作業日は毎月第3日曜日午後1時から**ですが、いつお越しくださいませもけっこうです。どなたでもご参加できます。事前にお電話かメールをいただくとありがたいです。



マスコットキャラ「ソーラー君」

農園主 落合清春 080-5091-8844 メール [koshun@live.jp](mailto:koshun@live.jp)

場 所 厚木市飯山885-1 県道厚木清川線バス停「ゴルフ場入口」下車 厚木方面へ戻り徒歩1分右側

## トピックス

●**食料とエネルギーの自立を！** 野菜が成長するためには、とくに窒素、リン、カリウムが大切で、肥料の三要素と呼ばれています。化学肥料はこの3要素をバランスよく配合しているので使いやすいのですが、問題はほとんどが輸入に頼っていることです。窒素肥料は、製造する過程で天然ガス、ナフサ等の化石燃料を使用するとか。リン酸肥料の原料のリン鉱石は、中国、モロッコ、米国、ロシア、ヨルダン、ベトナムなど一部の国に偏っていて、これらの国が輸出制限するとリン鉱石価格が高騰することになります。カリはカリ鉱石から作りますが、やはりカナダ(31%)、ロシア(19%)、ベラルーシ(14%)など偏在しており、この3か国で3分の2を占めるとか。案の定、ロシア・ウクライナ戦争のあおりで、日本への原料供給が滞りそうです。

日本の食料自給率は37%。農業者の平均年齢は67歳。自給率アップ、農業参入者増加とともに、化学肥料に頼る農業から脱却しないと日本の未来はないのでは？と心配です。

エネルギーの場合はどうかというと、日本の自給率は約12%で、主要45か国中なんと42位！輸入に頼ることなく、自前で持続可能かつ安全なエネルギーを生み出すことが急務です。“自然栽培・有機栽培を柱とするソーラーシェアリングの普及”というあつぎ市民発電所の役割が、ますます重要になってきました。



●**里芋植え付け終わる** 4月17日(日)13:00~サトイモの種芋を植えました。参加者は合計12名。キャベツなどを栽培している畝を除いて、4畝に植えました。ヤーコン、菊芋も合わせて植えました。ヤーコン、菊芋はもう芽が出ていますよ。ぜひ見に来てください！

●**情報誌の取材を受けました** 本厚木ミロードが出している情報誌「ATSUGI LOVERS」〈アツギラバーズ〉の記者とカメラマンが来園、取材を受けました。6月号でSDGsを特集する関係で、再エネで持続可能な地域社会を作るというあつぎ市民発電所に注目してくださ

たようです。発行が楽しみです。

●**厚木ガスの皆さんが視察** 4/28(木)午後、厚木ガスの方々3名が来園、遠藤理事長と農園主・落合が対応しました。エネルギーや食糧の地産地消に関してあつぎ市民発電所と連携していきたいということで、話が盛り上がりました。



**5月の農援隊5/14(土)**今回は土曜日です。お間違えないようお願いします。13:00~雨天中止。

メインは落花生の種まきです。汚れてもいい格好でお越しください。4分休符の駐車場が使えますが、利用するときと帰るとき、お店に一声かけてください。